

家庭教育力の強化を図る

家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動

半田市立成岩小学校PTA

1 はじめに

本校は、半田市の中心部から南に位置し、校区は衣浦湾に隣接し、JR武豊線と名鉄河和線が縦断している。春には校区の二つの自治会で祭礼が行われ、大変な賑わいを見せている。昔ながらの地域であり、保護者や祖父母には本校の卒業生も多く、協力的な家庭が多い。

学校の歴史は古く、明治5年に無量寿寺内に「進学学校」の名で創設され、明治17年に現在の場所に移転する。昭和22年に半田市立成岩小学校となり、今年で76年目である。

現在は、児童数544名、学級数26（含む特別支援学級8）、PTA会員数458名の中規模校である。「清く 正しく 大きく 伸びよ」の校訓のもと、新しい時代に生きる子どもたちが生きる力を身に付けられるよう、将来を見据えてキャリア教育を軸に教育活動を展開している。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言等により、これまで続けてきたPTA活動を見直さざるを得ない状況となった。令和4年度は、あたりまえの学校生活を少しずつ定着させていけるように、「楽しくなる成小PTAドリム」をテーマに、①保護者と教師の相互理解と連携の強化、

②子どもたちが楽しくなる環境づくり、③地域社会と連携を図り、子どもはみんなで育てる、④人としての心の豊かさをつながりの大切さを活動方針とし、家庭の教育力の強化を目指し、PTA活動に取り組んだ。



【成岩小学校の校舎】

(2) PTAの組織

PTA委員88名は、PTA会長や副会長、書記、会計などの「役員」と図書部・環境整備部・広報部・成人教育部・校外指導部の五つの専門部のいずれかに所属している。年5回全体委員会を開催し、全体委員会終了後に専門部会を行っている。また、専門部会は必要に応じ、開催している。図書部は図書館の環境整備、広報部はPTA広報誌を年3回発行、成人教育部はPTA会員向けの研修会の開催、環境整備部は資源回収やトイレピカピカ大作戦や除草作業、校外指導部は自転車訓練・歩行

訓練・通学路の足型マーク補修作業を行っている。

3 実践活動の概要

(1) 自転車訓練・歩行訓練

P T A校外指導部が中心となり、交通指導員を講師に招き、6月に全校で自転車訓練・歩行訓練を行っている。1・2年生は学校周辺道路で歩行訓練、3～6年生は、自宅から自転車を持ってきて、運動場で自転車訓練を実施した。1・2年生は、交差点の横断や交通量の多い道路での歩行に不安があったので、歩行者信号のある交差点の



【自転車訓練の様子】

渡り方や、歩道の歩き方などを交通指導員から学び、練習することで自信につながり、登下校の安全への意識が高まった。3～6年生は、下校後や休日には自転車で校区内を運転することが多いため、自転車の発進と一時停止を中心に、基本技能の習熟を図った。特に3年生はまだ不安定な運転をする子やサドルの高さが合っていない子もいたので、自転車の運転について見つめ直すよい機会となった。

(2) 交通当番

毎週月曜日の登校時に、当番制で全家庭が通学路の危険箇所に立ち、子どもたちの登校を見守っている。本校は、通学団登校ではなく、自由登校のため、多くの大人に見守られることで、安心して登校できている。また、あいさつを交わしたり、安全面について声をかけられたりすることで、児童の安全への意識を高めることができている。交通当番後に保護者は、気付いたことや改善点などをウェブアンケートで学校に提出し、通学路の危険箇所の把握や児童の登校の様子などを把握することにつながっている。

(3) トイレピカピカ大作戦

学校運営協議会とタイアップして、毎年8月に実施している。学校運営協議会委員、P T A役員、P T A環境整備部員、教員が、校内のトイレを分担し、高圧洗浄機を使って、毎日の掃除ではできない、壁や天井、網戸や換気扇などの清掃を行った。暑い中の作業だったが、参加者が熱心に取り組み、清潔感のあるピカピカのトイレになり、2学期から子ど



【トイレピカピカ大作戦の様子】

もたちが気持ちよく使うことができた。参加者からは、「トイレがきれいになると気持ちがよい」、「心がきれいになった」と感想が聞かれた。

(4) 資源回収

校区には、成岩四区と協和区の二つの自治会があり、それぞれ隔月で資源回収を行っている。本校のPTAは環境整備部を中心に資源回収に参加している。年12回ある資源回収を各学年2回ずつ割り振り、各地区に住んでいる子どもと保護者が参加している。子どもたちは、資源回収に参加することで、地域の一員であるという自覚や汗を流す勤労の大切さ、限られた資源を有効に利用することに気付くことにつながり、SDGsの意識を高める一助となっている。二つの自治会からは資源回収の配当金があり、本校が毎年発行している文集「成岩学林」の補助金として活用している。



【資源回収の様子】

(5) 足型マーク補修作業

毎年冬にPTA校外指導部員と交通指導員が、通学路の足型マークの補修作業を行っている。下校方面別に3方面に分かれ、薄くなってしまったマークの上にベニヤで作った足型を置き、白のスプレーをかけて、足型マークを補修した。子どもたちが安全に登下校できるように、通学路の安全点検や危険箇所の把握を兼ねて行った。



【足型マーク補修作業の様子】

(6) 図書館の環境整備

PTA図書部では、子どもたちが楽しい気持ちになって図書館にまた来たくなるように図書館の環境整備に力を入れている。子どもたちが本を取り出しやすいように、本の後ろに入れるスペーサーを作り直し、入れ替え作業を行った。また、壁面の飾り付けを季節ごとに行っている。飾りも古くなってきたものがあるため、新たに飾りを作成し、子どもたちが喜ぶような壁面作りが行われた。子どもたちからは、飾り



【図書部の作業の様子】

が変わる度に、「飾りが新しくなって、春らしくなった」など喜びの声を聞くことができた。

(7) ボランティア除草作業

以前は夏休み中に除草作業を行っていたが、熱中症予防や運動会に近い時期に除草ができた方がよいことから、9月下旬に行うこととした。保護者、児童、教員の参加についてもボランティアとし、朝6時半から1時間ほどの作業を計画したところ、たくさんの保護者や児童の参加があった。草刈り、草取り、樹木の剪定、運動場備の他、看板の撤去作業まで行うことができ、運動場とその周辺が見違えるほどきれいになった。



【除草作業の様子】

(8) しめなわ作り教室

P T A成人教育部が主催し、毎年研修会を行っている。これまでは、「フルーツロールケーキ教室」や「スマホ教室」、Zoomで熊本の大学教授とつないだ「これからの教育についてみんなで考えよう～G I G A (ギガ) スクール構想で変わる未来への学びについて～」などさまざまな研修会を開催してきた。令和3年度は、コロナ禍であったが、しめなわ作り教室を12月に行った。地域の花屋を講師に迎え、30名ほどが参加した。久しぶりにP T A会員同士の交流ができ、和やかな雰囲気で行うことができた。1時間ほどで、素敵なしめなわが完成した。コロナ禍で会員同士が交流する機会が減ってきているので、このような会が再び活発にできるように、魅力ある企画を考えていきたい。



【しめなわ作り教室の様子】

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事やP T A活動にさまざまな制約が生まれる中、あたりまえのことをあたりまえにできるように、P T A活動も感染対策を講じ、感染状況に応じて、できることをできる範囲で行ってきた。まだコロナ禍以前のようにはいかない部分もあるが、少しずつ、P T A会員同士のつながり、家庭と学校と地域の連携を取り戻しつつある。今後も、家庭の教育力を育ていけるように、持続可能なP T A活動を行い、家庭・学校・地域の連携を深め、子どもたちの健やかな成長を末永く支えていきたい。